

地理空間情報産学官連携協議会 G空間EXPOに関するワーキンググループ(第11回)
及びG空間EXPO実行委員会(第11回) 議事概要

1. 日時

平成23年4月28日(木) 13時00分～14時00分

2. 場所

中央合同庁舎第4号館(1F) 共用108会議室

3. 出席者

<産>

衛星測位システム協議会
(財)衛星測位利用推進センター
(特)国土空間データ基盤推進協議会
gコンテンツ流通推進協議会
(社)全国測量設計業協会連合会
(社)日本建設機械化協会
(財)日本建設情報総合センター
(財)日本情報経済社会推進協会
(社)日本測量機器工業会
(社)日本測量協会
(財)日本測量調査技術協会
(財)日本地図センター
(社)日本地図調製業協会
日本土地家屋士会連合会
(社)日本ロボット工業会
マルチメディア推進フォーラム

<学>

測位航法学会
(社)地理情報システム学会
(社)日本地理学会

<官>

内閣官房内閣参事官(内閣官房副長官補付)
内閣官房内閣参事官(宇宙開発戦略本部事務局)
内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付参事官
総務省情報通信国際戦略局技術政策課研究推進室
法務省民事局民事第二課
文部科学省研究開発局宇宙開発利用課
経済産業省製造産業局航空機武器宇宙産業課宇宙産業室
経済産業省商務情報政策局情報政策課情報プロジェクト室
国土交通省大臣官房技術調査課
国土交通省総合政策局技術安全課
国土交通省国土計画局参事官室
国土交通省国土地理院企画部
環境省大臣官房総務課環境情報室

<官(独立行政法人)>

(独)宇宙航空研究開発機構
(独)森林総合研究所
(独)土木研究所
(独)国立環境研究所

<オブザーバー>

国土交通省総合政策局情報政策課
海上保安庁海洋情報部技術・国際課

4. 議事次第

- (1) 開会
- (2) 議事

① 「G空間EXPO(2010年9月開催)」の収支報告(決算)

② 「G空間EXPOビジネスフォーラム2011」の実施の方向性と今後の展開について

③ その他

- (3) 閉会

5. 議事及び主な発言内容

(1)「G空間EXPO(2010年9月開催)」の収支報告(決算)

○事務局より資料1説明

○主な質疑応答

・G空間EXPO収支報告(決算)で気になる点(収入の部の設備使用料が予算額と比較

し、実績額は倍近く多い。支出の部には次期繰越の項目がない。)がいくつかある。
→(事務局)収入の部の設備使用料が倍近く増加したのは、インターネットを使用した出展者が多かったため、収入が増加した。支出の部において、繰越額欄を設けなかったのは、1 回限りの単年度決算のため収支を均衡させたことによる。剰余金で報告書を作成した。広報費の中に報告書作成が含まれている。支出の部に報告書の作成の項目を盛り込み、空間 EXPO 収支報告(決算)は、作り直して報告する。
◎決算として了承された。

(2) 「G空間EXPOビジネスフォーラム2011」の実施の方向性及び今後の展開について

○事務局より資料2～7説明

○主な質疑応答

・資料6の4. にあるG空間EXPO2012のプレイベントとして、実行委員会の各構成員においては、シンポジウム等を適宜開催するとはどういったものなのか？

→(事務局) 来年のG空間EXPO開催にむけて機運を盛り上げていくことや、防災や復興に GIS の利活用をアピールするために、実行委員会の構成員のみなさまにシンポジウムの開催等の対応をお願いしたい、という趣旨である。開催していただく際には、実行委員会で後押しや協力をしていきたい(EXPO のメーリングリストを活用して各構成員に周知する等)。パシフィコ横浜はすべてキャンセルするので、例えば合同庁舎の講堂などを会場として利用することを考えている。詳細については今後事務局で内容を検討していく。

・資料7の補足説明

(事務局)開催のリスクに備えるために多年度会計での運営を進めていきたいが、多年度会計の方法は、任意団体として税務申告を行うということを想定。

◎ 「G空間EXPOビジネスフォーラム2011」の実施の方向性及び今後の展開については資料6, 7に示したもので了承された。

詳細については、今後検討のうえ、実行委員会で諮っていきたい。